



## 平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年11月12日

上場会社名 株式会社ツカダ・グローバルホールディング 上場取引所 東  
 コード番号 2418 URL <http://www.tsukada-global.holdings>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚田正之  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務経理部長 (氏名) 石原啓次 TEL 03-5464-0081  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

〔百万円未満切捨て〕

### 1. 平成26年12月期第3四半期の連結業績（平成26年1月1日～平成26年9月30日）

（1）連結経営成績（累計） （％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	34,793	5.6	2,526	△24.8	2,683	△22.5	1,591	△16.1
25年12月期第3四半期	32,945	8.4	3,362	11.8	3,464	14.6	1,895	43.0

（注）包括利益 26年12月期第3四半期 1,633百万円（△17.8%） 25年12月期第3四半期 1,988百万円（50.0%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第3四半期	32.59	29.10
25年12月期第3四半期	38.73	38.53

### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第3四半期	58,280	25,800	44.3
25年12月期	53,968	24,668	45.7

（参考）自己資本 26年12月期第3四半期 25,800百万円 25年12月期 24,668百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	1,000.00	—	5.00	—
26年12月期	—	5.00	—	—	—
26年12月期（予想）	—	—	—	5.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき200株にする株式分割を行いました。当該株式分割を考慮しない場合の平成25年12月期の期末の1株当たり配当金は1,000円00銭となり、年間の1株当たり配当金は2,000円00銭となります。

### 3. 平成26年12月期の連結業績予想（平成26年1月1日～平成26年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,650	11.0	7,250	5.7	7,250	1.7	4,300	1.5	88.06

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
 新規 4社 （社名）株式会社ベストブライダル、株式会社F A J A, 株式会社R A J A, 株式会社R e t r e a t、除外 1社 （社名）－  
 （注）詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有  
 （注）詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年12月期3Q	48,960,000株	25年12月期	48,960,000株
② 期末自己株式数	26年12月期3Q	131,512株	25年12月期	131,512株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年12月期3Q	48,828,488株	25年12月期3Q	48,946,649株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	9
4. 補足情報 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動が長引いており、一部で弱い動きがみられるものの、政府による経済政策や日銀の金融政策の効果などを背景に、企業収益の改善並びに雇用・所得環境の改善が見られ、景気は穏やかな回復基調で推移しております。しかしながら、円安や燃料高による輸入コストの上昇、海外景気の下振れ懸念等もあり、先行き不透明な状態が続いております。

このような環境下において、当社グループはブライダル市場、並びにホテル市場における新しい価値の創造、高品質かつ魅力ある店舗づくりと付加価値の高いサービスの提供に常に積極的に取り組みつつ、個性化・多様化するお客様のニーズに的確に対応することで、売上高の拡大と収益性の向上に努めてまいりました。

また、当第3四半期連結会計期間において、近年の健康・美容への関心の高まりを背景に、リラクゼーション関連分野の市場は拡大しており、同市場は今後、大きく発展、拡大するものと考え、株式会社F A J Aの全株式を取得いたしました。なお、平成26年9月30日をみなし取得日としたため、当第3四半期連結累計期間は貸借対照表のみを連結しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は34,793百万円（前年同四半期比5.6%増）となりましたが、既存店舗の施行件数の減少及び一部連結子会社の固定費の増加等により、利益につきましては、営業利益2,526百万円（同24.8%減）、経常利益2,683百万円（同22.5%減）、四半期純利益1,591百万円（同16.1%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間及び当第3四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

#### ① 国内婚礼事業

当第3四半期連結累計期間においては、少人数婚礼の施行件数は順調に推移しましたが、既存店舗の施行件数の減少により、売上高は若干の減少となりました。

この結果、当セグメントの売上高は25,095百万円（前年同四半期比3.6%減）、セグメント利益は3,579百万円（同22.8%減）となりました。

#### ② ホテル事業

当第3四半期連結累計期間においては、前連結会計年度に改装工事が完了した「ホテルインターコンチネンタル東京ベイ」が順調に推移し、また新たに事業を譲受けました「ストリングスホテル東京インターコンチネンタル」が、売上高の増加に貢献いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は7,307百万円（前年同四半期比50.1%増）、セグメント損失は69百万円（前年同四半期は、セグメント損失324百万円）となりました。

#### ③ 海外事業

当第3四半期連結累計期間においては、直販営業が堅調に推移し、また外国人挙式が増加いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は2,390百万円（前年同四半期比16.7%増）、セグメント利益は31百万円（同35.2%増）となりました。

#### ④ W&R事業（ウェルネス&リラクゼーション事業）

当第3四半期連結累計期間においては、平成26年9月30日を株式会社F A J A及びその子会社2社のみなし取得日としたため、貸借対照表のみを連結しております。

そのため、当セグメントの業績については、当第3四半期連結累計期間において計上しておりません。

### (2) 財政状態に関する説明

#### 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ4,311百万円増加して、58,280百万円となりました。これは主に、事業譲受及び株式取得等に伴うのれんの増加1,909百万円、現金及び預金の増加1,760百万円、敷金及び保証金の増加1,362百万円、その他の流動資産の減少1,378百万円、また、新規出店準備等に伴う有形固定資産の増加880百万円があったことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ3,179百万円増加して、32,479百万円となりました。これは主に、借入金及び社債の純増額2,941百万円、前受金の増加1,264百万円、事業譲受等に伴う資産除去債務の増加331百万円があったものの、未払法人税等が1,485百万円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ1,131百万円増加して、25,800百万円となりました。これは主に、利益剰余金の配当が488百万円、四半期純利益を1,591百万円計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度(平成26年12月期)の業績予想につきましては、平成26年8月8日付第2四半期決算短信にて公表いたしました数値に変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、株式会社ベストブライダル(平成26年7月1日付で「株式会社ベストブライダル分割準備会社」より商号変更)を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。なお、特定子会社の異動には該当していませんが、Ecpark Pte.Ltd.は連結グループ方針の見直し等により、相対的な重要性が増加したため、連結の範囲に含めております。

また、当第3四半期連結会計期間において、株式会社F A J Aの株式を取得したことにより、同社及びその子会社2社を連結の範囲に含めております。なお、みなし取得日を平成26年9月30日としているため当第3四半期連結累計期間は貸借対照表のみを連結しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

① 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(特有の会計処理)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、見積実効税率を使用できない場合には、法定実効税率を使用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	8,866	10,627
売掛金	476	759
有価証券	5,000	4,213
商品	3	39
原材料及び貯蔵品	373	461
その他	3,216	1,837
貸倒引当金	△41	△42
流動資産合計	17,895	17,897
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	15,342	15,313
土地	4,757	4,810
その他(純額)	1,361	2,216
有形固定資産合計	21,460	22,341
<b>無形固定資産</b>		
のれん	962	2,871
その他	191	179
無形固定資産合計	1,153	3,051
<b>投資その他の資産</b>		
敷金及び保証金	6,299	7,661
その他	7,103	7,214
投資その他の資産合計	13,402	14,875
固定資産合計	36,016	40,268
繰延資産	56	114
資産合計	53,968	58,280

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,189	2,163
短期借入金	—	400
1年内返済予定の長期借入金	2,709	2,427
1年内償還予定の社債	484	734
未払法人税等	1,786	301
前受金	968	2,232
ポイント引当金	—	40
その他	2,231	2,452
流動負債合計	10,370	10,753
固定負債		
社債	1,106	3,422
転換社債型新株予約権付社債	5,000	5,000
長期借入金	9,960	10,217
退職給付引当金	282	300
役員退職慰労引当金	636	672
資産除去債務	1,083	1,414
その他	861	700
固定負債合計	18,929	21,726
負債合計	29,300	32,479
純資産の部		
株主資本		
資本金	472	472
資本剰余金	634	634
利益剰余金	23,443	24,531
自己株式	△88	△88
株主資本合計	24,461	25,549
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	88	105
繰延ヘッジ損益	46	10
為替換算調整勘定	71	134
その他の包括利益累計額合計	206	250
純資産合計	24,668	25,800
負債純資産合計	53,968	58,280

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
売上高	32,945	34,793
売上原価	22,063	23,793
売上総利益	10,881	11,000
販売費及び一般管理費	7,519	8,473
営業利益	3,362	2,526
営業外収益		
受取利息	47	54
受取配当金	50	106
匿名組合投資利益	122	126
為替差益	65	96
デリバティブ評価益	—	56
その他	94	39
営業外収益合計	380	481
営業外費用		
支払利息	194	155
デリバティブ評価損	75	—
支払手数料	—	159
その他	8	11
営業外費用合計	278	325
経常利益	3,464	2,683
特別利益		
投資有価証券売却益	—	7
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	8
特別損失		
店舗閉鎖損失	6	—
固定資産除却損	36	22
特別損失合計	42	22
税金等調整前四半期純利益	3,421	2,669
法人税等	1,525	1,079
少数株主損益調整前四半期純利益	1,895	1,589
少数株主損失(△)	—	△1
四半期純利益	1,895	1,591

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,895	1,589
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10	16
繰延ヘッジ損益	16	△35
為替換算調整勘定	45	63
持分法適用会社に対する持分相当額	20	—
その他の包括利益合計	92	43
四半期包括利益	1,988	1,633
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,988	1,633
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内婚礼 事業	ホテル 事業	海外事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	26,028	4,867	2,048	32,945	—	32,945
セグメント間の内部売上高又は振替高	257	91	0	349	△349	—
計	26,286	4,959	2,049	33,294	△349	32,945
セグメント利益又はセグメント損失(△)	4,637	△324	23	4,336	△974	3,362

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△974百万円には、セグメント間取引消去28百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,002百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内婚礼 事業	ホテル 事業	海外事業	W&R 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	25,095	7,307	2,390	—	34,793	—	34,793
セグメント間の内部売上高又は振替高	371	101	0	—	473	△473	—
計	25,467	7,408	2,390	—	35,266	△473	34,793
セグメント利益又はセグメント損失(△)	3,579	△69	31	—	3,542	△1,015	2,526

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△1,015百万円には、セグメント間取引消去34百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,049百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、「国内事業」に含まれていた「ホテル事業」について量的な重要性が増したため、報告セグメントを従来の「国内事業」及び「海外事業」の2区分から、「国内婚礼事業」、「ホテル事業」及び「海外事業」の3区分に変更いたしました。

当第3四半期連結会計期間より、株式会社F A J A及びその子会社2社が、連結子会社となったことに伴い、報告セグメントを従来の3区分から「W&R事業」(ウェルネス&リラクゼーション事業)を追加し4区分としております。また、みなし取得日を平成26年9月30日としているため当第3四半期連結累計期間は貸借対照表のみを連結しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「W&R事業」セグメントにおいて、株式会社F A J Aの株式を取得したことに伴い、当第3四半期連結会計期間より、株式会社F A J A及びその子会社2社を連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては1,387百万円であります。

4. 補足情報

施行、受注及び販売の状況

(1) 施行実績

期別	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)	前連結会計年度 (自 平成25年1月1日 至 平成25年12月31日)
セグメントの名称	施行件数 (件)	施行件数 (件)	施行件数 (件)
国内婚礼事業	6,903	7,014	9,857
ホテル事業	510	515	758
海外事業	2,092	2,120	2,932
合計	9,505	9,649	13,547

(2) 受注状況

期別	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)		前連結会計年度 (自 平成25年1月1日 至 平成25年12月31日)	
セグメントの名称	受注件数 (件)	受注件数残高 (件)	受注件数 (件)	受注件数残高 (件)	受注件数 (件)	受注件数残高 (件)
国内婚礼事業	7,469	6,476	7,979	6,573	9,555	5,608
ホテル事業	642	538	733	666	800	448
海外事業	2,355	1,685	2,314	1,671	2,987	1,477
合計	10,466	8,699	11,026	8,910	13,342	7,533

(3) 販売実績

期別	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)	前連結会計年度 (自 平成25年1月1日 至 平成25年12月31日)
セグメントの名称	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)
国内婚礼事業	26,028	25,095	37,392
ホテル事業	4,867	7,307	7,139
海外事業	2,048	2,390	2,894
合計	32,945	34,793	47,426

- (注) 1. 第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しております。前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度の数値につきましては、変更後のセグメントの区分に組み替えて作成しております。
2. 第1四半期連結会計期間より、新たに外部提携施設での施行件数、受注件数、受注残高件数を含めることとしたため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度につきましては、変更後の数値にて作成しております。
3. セグメント間取引については、相殺消去しております。
4. 金額には、消費税等は含まれておりません。